

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-23132

(43)公開日 平成 6 年(1994) 2 月 1 日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 3 F 7/02

識別記号

3 4 9 B

庁内整理番号

9113-2C

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-148225

(22)出願日 平成 4 年(1992) 5 月 13 日

(71)出願人 000150051

株式会社竹屋

愛知県名古屋市中区栄 4 丁目 6 番 9 号

(72)発明者 竹内 正博

愛知県春日井市美濃町 2 丁目102番地

(72)発明者 若菜 芳生

愛知県春日井市稲口町441番地

(72)発明者 田結 誠

東京都中野区新井 4 丁目 4 番 3 号

(72)発明者 竹内 英勝

愛知県春日井市東野町西二丁目14番地の15

(74)代理人 弁理士 今崎 一司

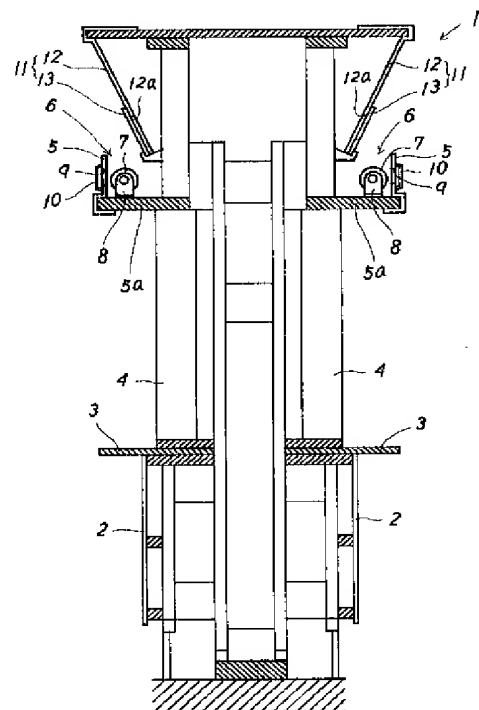
(54)【発明の名称】 パチンコ島台

(57)【要約】

【目的】 装飾効果の向上を図ることが可能なパチンコ島台を提供する。

【構成】 パチンコ島台 1 のパチンコ機 4 の列設位置上部の幕板部 5 を光源 7 が設置される光源設置部 6 として形成すると共に、該光源設置部 6 の上方の欄間部 1 1 を光源 7 から発せられる光が照射されるスクリーン部 1 2、1 3とした。

【効果】 光源 7 から発せられる光によって幕板部 5 の上方に位置する欄間部 1 1 が照射され、パチンコ島台 1 のイメージが従来の欄間部の装飾だけから受けるイメージとは異なるばかりでなく、特に、光源 7 の色彩や照度等を変化させることにより、パチンコ島台 1 の装飾に変化を与えることができると共に、高級感や躍動感を演出することが可能となる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数のパチンコ機をそのほぼ中央横方向に列設することが可能なパチンコ島台において、前記パチンコ機の列設位置上部の幕板部を光源が設置される光源設置部として形成すると共に、該光源設置部の上方の欄間部を前記光源から発せられる光が照射されるスクリーン部としたことを特徴とするパチンコ島台。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、複数のパチンコ機をそのほぼ中央横方向に列設することが可能なパチンコ島台に関し、特にパチンコ島台の上部の装飾効果を高めることが可能なパチンコ島台に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、複数のパチンコ機をそのほぼ中央横方向に列設することが可能なパチンコ島台においては、パチンコ機の列設位置の上部に呼出ランプ装置が取り付けられる幕板部が設けられ、該幕板部の上部に装飾図柄等が描かれた欄間部が設けられていた。そして、主として欄間部に描かれた図柄や模様によってパチンコ島台の上部の装飾効果が図られていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このため、パチンコ遊技場のパチンコ機を含む他の部所の装飾効果の向上が図られているのに対し、パチンコ島台上部の装飾が固定化され、パチンコ島台自体の装飾が見劣りする傾向にあった。本発明は、上記した事情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、装飾効果の向上を図ることが可能なパチンコ島台を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記した目的を達成するために、本発明においては、複数のパチンコ機をそのほぼ中央横方向に列設することが可能なパチンコ島台において、前記パチンコ機の列設位置上部の幕板部を光源が設置される光源設置部として形成すると共に、該光源設置部の上方の欄間部を前記光源から発せられる光が照射されるスクリーン部としたことを特徴とするものである。

【0005】

【作用】 パチンコ機の列設位置上部の幕板部に設置される光源から発せられる光によって幕板部の上方に位置する欄間部が照射されるので、パチンコ島台のイメージが従来の欄間部の装飾だけから受けるイメージとは異なるばかりでなく、特に、光源の色彩や照度等を変化させることにより、パチンコ島台の装飾に変化を与えることができると共に、高級感や躍動感を演出することが可能となる。

【0006】

【実施例】 以下、図面を参照して本発明の実施例について説明する。まず、主として図1及び図2を参照して、

実施例に係るパチンコ島台1の構成について説明する。

図1は、パチンコ島台1の断面図であり、図2は、パチンコ島台1の一部を示す斜視図である。図において、パチンコ島台1は、周知のように、縦棧及び横棧を枠組みしてほぼ直方体状に形成されるもので、その長手方向の下部には、腰板2が張り付けられ、該腰板2の上部にパチンコ島台1に対して直交する方向にカウンター台3が取り付けられている。そして、該カウンター台3の上部に複数のパチンコ機4が横方向に列設されている。

【0007】 パチンコ機4の列設位置の上部には、幕板5が前方に突出状に設けられている。この幕板5は、パチンコ島台1に対して直交する方向に突設される水平支持台5aの前面に垂直状に立設されるもので、幕板5と水平支持台5aとで囲まれる空間が光源設置部6として構成される。光源設置部6には、各パチンコ機4に対応するように光源7が配置されている。具体的には、図3に示すように、水平支持台5aに止着される支持台8によって円球状の光源7が支持固定されるものである。光源7としては、蛍光灯や白熱電球、あるいはネオン管等が使用され、好ましくは、光源7の周囲に光源7から発せられる光の色彩を変化させるフィルター装置を設けることが望ましい。

【0008】 また、上記した光源7の設置位置に対応する幕板5には、円形状の透視窓9が開設され、該透視窓9の前面がレンズ10（図1にだけ図示し、他の図面では省略する）によって被覆されている。この透視窓9は、光源7の作動（点灯、点滅等）した状態を明確に視認するためのものである。また、本実施例においては、光源7が呼出機能と特賞表示機能（大当たり表示機能ともいう）とを有するように構成される。例えば、通常の遊技状態においては、光源7から発せられる光の照度を弱くしておき、パチンコ機4にトラブルが生じて遊技者が呼出スイッチを操作したときにやや強い照度の光を発し、遊技状態が特賞遊技状態となったときに特賞信号を受けて最も強い光を発して、それぞれの遊技状態を報知するようになっている。なお、それぞれの遊技状態に応じて光の照度を異ならせるだけでなく、色彩や表示態様（点灯又は点滅等の態様）を異ならせても良い。

【0009】 上記した光源設置部6の上方には、欄間11が傾斜状に設けられている。この欄間11は、上部の固定スクリーン部12と下部の可動スクリーン部13とから構成され、上部の固定スクリーン部12には、開口部12a（図1にだけ図示し、他の図面では省略する）が形成され、その開口部12aを被覆するように下部の可動スクリーン部13が設けられ、必要に応じて可動スクリーン部13をスライド移動させて開口部12aを開放することができるようになっている。このような構造としたのは、欄間11の後方のパチンコ島台1の内部には、周知のようにパチンコ玉を各パチンコ機4に補給するための補給樋が設けられており、この補給樋でパチン

3

コ玉が玉詰まりを生じたときに、手早く直す必要があるためである。また、固定スクリーン部12及び可動スクリーン部13は、共に前記光源7と対面した状態になっているため、光源7から発せられた光が照射されることとなる。

【0010】上記のように構成されるパチンコ島台1の作用について、図4を参照して説明すると、まず、通常の遊技状態においては、図示しないが極めて弱い照度で各光源7を点灯させることにより、光源7から発せられた光が欄間11の可動スクリーン部13及び固定スクリーン部12に照射されて柔らかく且つ幻想的なイメージを遊技者に与え、パチンコ島台1全体が高級感のあるイメージを持って装飾される。

【0011】次いで、例えば、左端のパチンコ機4aにトラブルが生じたときには、幕板5の透視窓9の側方に設けられる呼出タッチセンサー板14に接触することにより、光源7から発せられる光の照度がやや強められる。このため、特に下部の可動スクリーン部13に照射される光の照度が強くなると共に、その状態が透視窓9を介して視認され得る。なお、光の照度を变化させるだけでなく、フィルター装置を駆動して所定の色彩（例えば、緑）を有する光を照射するようにすれば、より明確に呼出状態であることを報知することができる。また、呼出タッチセンサー板14は、必ずしも幕板5に設ける必要はなく、例えば、パチンコ機4の前面枠表面に設けても良い。

【0012】更に、左から3つ目のパチンコ機4cの遊技状態が特賞遊技状態となったときには、パチンコ機4からの特賞信号に基づいて光源7から発せられる光の照度が最も強められる。このため、その強められた光によって可動スクリーン部13だけでなく固定スクリーン部12に照射される光の照度が強くなると共に、その状態が透視窓9を介して視認され得る。なお、この場合にも、光の照度を变化させるだけでなく、フィルター装置を駆動して所定の色彩（例えば、赤）を有する光を照射するようにすれば、より明確に特賞遊技状態であることを報知することができる。このように、特賞遊技状態となったときには、当該パチンコ機4の上部の照明が広い範囲で急に明るくなるので、当該パチンコ機4で遊技している遊技客に大きな満足感と優越感とを与えることが可能となる。

【0013】上記したように、本実施例においては、各種の状態において、光源7から発せられる光の照度及び色彩に変化を与えることができるため、パチンコ島台1の装飾に変化を与えることができると共に、高級感や躍動感を演出することが可能となると共に、パチンコ島台1の上部で光の変化が生ずるため、離れた位置からもその状態が判断でき、遊技場の店員の遊技客に対するサービスの提供を迅速に行うことができる。

【0014】なお、上記した実施例においては、透視窓

4

9の形状が円形状のものを示したが、他の形状、例えば、図5に示すように正形状の透視窓9aとしても良い。このように、透視窓9の形状を変化させるだけで、パチンコ島台1の装飾に異なる印象を与えることができる。

【0015】また、上記した実施例においては、通常の遊技状態、呼出状態、特賞遊技状態に応じて光源の照度及び色彩が変化するものを示したが、他の状態、例えば、不正遊技（磁石使用、ガラス扉開放等）をセンサーが感知したときに、光源7を異なる態様（例えば、光源7を回転させたり、点滅させたりする）で駆動制御することにより、その状態を報知するようにしても良い。また、光源設置部6内にスピーカ等の音声発生装置を設け、光源7の変化と対応するように異なる音声を発生するようにしても良い。また、欄間11を構成する固定スクリーン部12及び可動スクリーン部13に図柄を施して、その図柄が光源7の光によって浮かび上がるようにしても良い。また、本実施例においては、光源7に呼出機能を付与したものを示したが、呼出機能は、従来と同じ呼出ランプ装置を使用し、光源7を純粹に装飾のために使用するものでも良い。更に、欄間11を構成する固定スクリーン部12及び可動スクリーン部13が光源7と対面するように傾斜状に設けられたものを示したが、光源7と対面する構造であれば、傾斜状でなくても、例えば、湾曲していても良い。また、欄間11の後方内部に空気清浄装置を内蔵させ、スクリーン部に空気の吸入口を目立たない状態で形成したのも良い。

【0016】

【発明の効果】以上、説明したところから明らかなように、本発明においては、パチンコ機の列設位置上部の幕板部を光源が設置される光源設置部として形成すると共に、該光源設置部の上方の欄間部を光源から発せられる光が照射されるスクリーン部としたので、光源から発せられる光によって幕板部の上方に位置する欄間部が照射され、パチンコ島台のイメージが従来の欄間部の装飾だけから受けるイメージとは異なるばかりでなく、特に、光源の色彩や照度等を変化させることにより、パチンコ島台の装飾に変化を与えることができると共に、高級感や躍動感を演出することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例に係るパチンコ島台の断面図である。

【図2】パチンコ島台の部分斜視図である。

【図3】パチンコ島台の上部の拡大部分斜視図である。

【図4】使用状態を示すパチンコ島台の部分正面図である。

【図5】一部の構成が異なるパチンコ島台の部分斜視図である。

【符号の説明】

1 パチンコ島台

4 パチンコ機

50

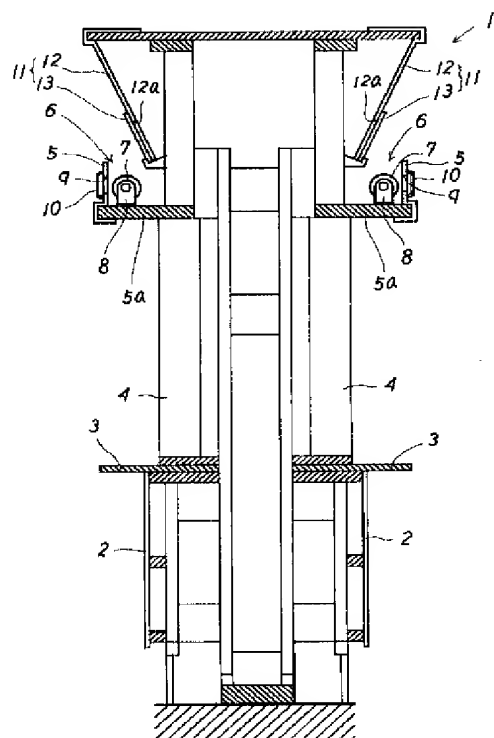
5

6

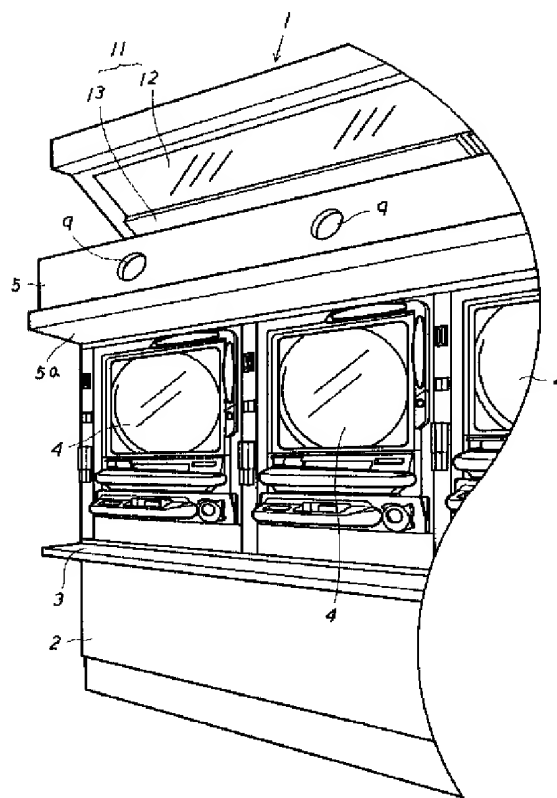
- 5 幕板
6 光源設置部
7 光源
9 透視窓

- 11 欄間
12 固定スクリーン部
13 可動スクリーン部

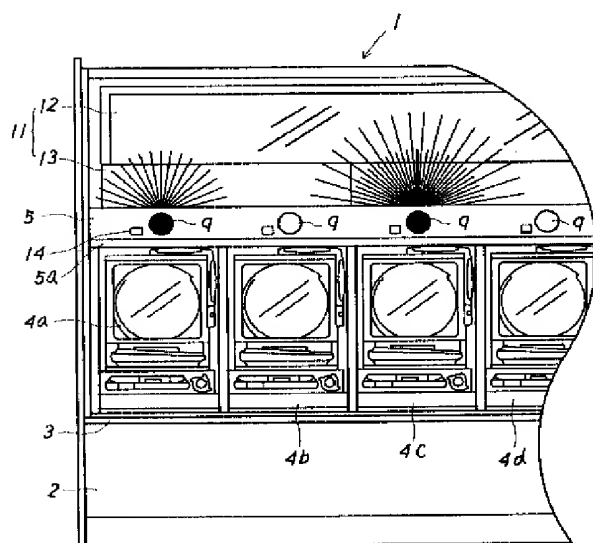
【図1】



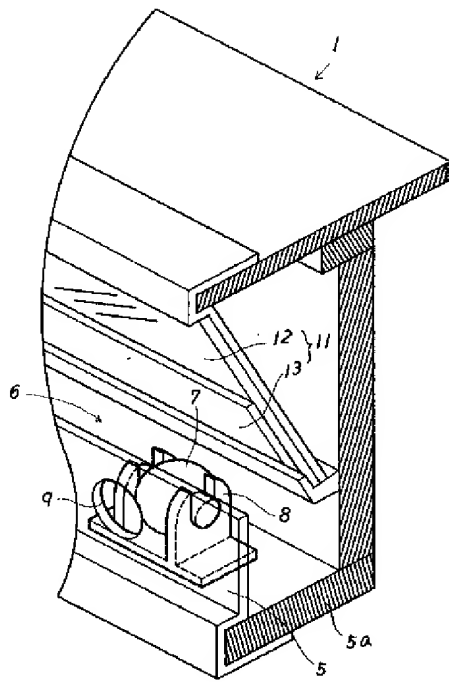
【図2】



【図4】



【図3】



【図5】

